



霞ヶ関官庁街の景観
変化-高層化と歴史
的建築の保存の視点
から-



日比谷カレッジ
Hibiya College

丸の内の「まちづくり」の変遷
いち丁倫敦から東京駅前再開発まで

日時 2016年2月1日(月) 19時~20時45分 (受付開始 18時30分~)

会場 日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

参加費 1000円 定員 200名 (申込順、定員に達した時点で受付終了)

日本初のオフィス街である丸の内。新しい景観はどのように創られ、時代と共にどう変化してきたのでしょうか。

明治期に始まり、関東大震災、戦後 復興、高度成長期を経て、1995年の阪神淡路大震災後の耐震化、建て 替え、復元、賑わい創出など、まちづくりの最前線までを語ります。

講師 丸の内
講師 東條 隆郎 (株式会社三華地産設計 副社長)

プロフィール
1950年 北條生まれ
1973年 社会科系建築工学科卒業
建築科専攻会社入社
2001年~ 株式会社三華地産設計
専任社員(建築設計)

【作品】
・ 丸の内ビルディング ・ 丸の内ビルディング
・ 丸の内ビルディング ・ 丸の内ビルディング
・ 丸の内ビルディング ・ 丸の内ビルディング

申込み
電話 (03-2502-2340)
E-mail
(お問い合わせは) 日比谷カレッジ
日比谷カレッジ
① 氏名
② 住所
③ 連絡先
を必ずお知らせください。

千代田区立 日比谷図書文化館
〒100-0001 千代田区日比谷 1-1-1
地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

〒100-0001 千代田区日比谷 1-1-1
地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

イベント 終了しました

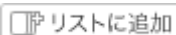
丸の内の「まちづくり」の変遷 ～一丁倫敦から東京駅前再開発まで～

キーワード	日比谷カレッジ
内容	日本初のオフィス街である丸の内。 新しい景観はどのように創られ、時代と共にどう変化してきたのでしょうか。 明治期に始まり、関東大震災、戦後 復興、高度成長期を経て、1995年の阪神淡路大震災後の耐震化、建て 替え、復元、賑わい創出など、まちづくりの最前線までを語ります。
日にち	2016年02月01日(月) 19:00から20:45
日にち説明	当日の受付開始 18:30
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)
関連ファイル	講座ポスター
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名 (申込順)

参加費用	1,000円
講師・出演者	東條隆郎
プロフィール	<p>■東條 隆郎（とうじょう たかお） 株式会社三菱地所設計 副社長。1950年北海道生まれ。1973年に北海道大学建築工学科を卒業し、三菱地所株式会社入社。2001年より株式会社三菱地所設計。主な作品に、丸の内ビルディング、パレスホテル、丸の内仲通り、有楽町イトシア、広尾ガーデンヒルズなど。</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
協力	NPO法人建築から社会に貢献する会
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2015年12月20日 10:00 から2016年02月01日 19:00
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名（または講演会名）、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
関連リンク	<p>NPO法人 建築から社会に貢献する会 ホームページ</p> <p>株式会社 三菱地所設計 ホームページ</p>

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2016年 02月						
	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29					

発信日	2015.12.20
-----	------------


[ツイート](#)